

(第2号様式)

豊見城南第2252号
令和8年3月19日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立豊見城南高等学校
校長 金城 篤
(公印省略)

令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	7月15日(火)	視聴覚室	3名中2名参加
第2回	12月12日(金)	会議室	3名中1名参加
第3回	2月20日(金)	会議室	3名中1名参加

2 学校評議員に求めた事項

- ・学校運営に関すること
- ・生徒の育成に関する本校の取組状況
- ・生徒の様子から感じられること
- ・地域から本校に求められていることに関する助言
- ・専門的な視点からの学校への助言

3 学校評議員の意見

- ・学びに対して主体性を持って取り組む生徒の育成が求められる。
- ・自己肯定感を育むための組織的な取り組みが必要である。
- ・生徒が熱中できる行事をさらに充実させ、学校生活に活気をもたせてはどうか。
- ・学校の改革により生徒に変化は見られるが、先生方の負担も大きいため、教職員が健康を損なわないよう十分な配慮が必要である。
- ・管理職は職員一人ひとりへの細やかな目配りを行い、組織として教職員をフォローする体制を強化してほしい。

4 学校運営に反映した事項

- ・「ハロウィン仮装Day」の新設や「防災プロジェクト」での地域連携による主体的・対話的な学びの導入をはじめ、教育活動を通して生徒の当事者意識の育成に努め、学校の活気と自己肯定感の向上を推進した。
- ・学校衛生委員会による勤務状況の把握や管理者による声掛けを通して教職員の健康状況の把握に努めるとともに、産業医や医療機関、教育委員会等との連携により、職場環境の適正化を推進した。

5 課題その他

- ・生徒の学びに対する当事者性の育成を学校教育活動全体の中核に据え、地域社会との連携をさらに深めながら、次年度以降もその定着と発展を図る。
- ・教職員の負担軽減と健康維持に向けた働き方改革については、組織的なフォロー体制を維持しつつ、持続可能な教育活動の実現に向けた継続的な課題として取り組む必要がある。